

振り返り活動で相互参照

■校種・学年：小学校以上

■活用の概要：

様々な教科等で実践されている「振り返り活動」を、表計算ソフトの共同編集機能を活用して行う。

児童生徒それぞれが個人のセルに入力しながらクラスメートの記述を見られるので、学習内容を確認したり、自分の記述と比較したりできる。そうすることで、学びがより定着したり、深く思考したりすることにつながる。

また、教師は全員の記述を瞬時に把握できるメリットがあり、即座にフィードバックができるなど、指導や学習の改善に活かせる。

汎用的な活用方法なので、共同編集機能やクラウド活用のイメージをつかみやすい事例である。

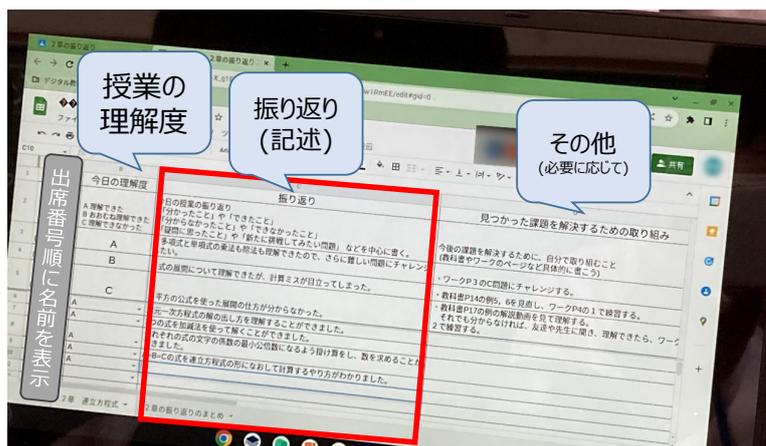
■準備するもの：

- ・表計算ソフト（OS標準）

振り返りの観点等を示したファイルを、児童生徒と共有する



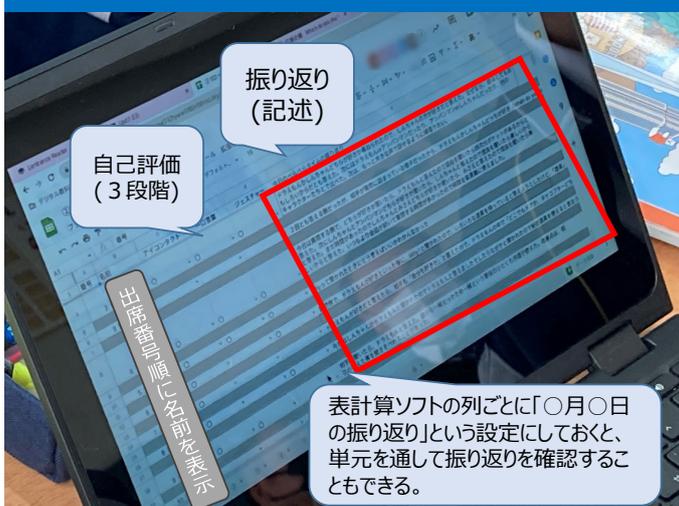
記述内容を相互に参照しながら、自分のセルに入力していく



これまでも振り返り活動は実践されてきたが、どんな記述があるかを児童生徒同士が知ろうと思うと、交流するまでわからない場合もあった。

共同編集機能を活用することで、記述の途中も共有できるので、児童生徒にとって学びの助けになる。

記述による振り返りだけでなく、自己評価をA・B・Cなどの3段階で選択できるように設定することも可能なので、タイピングの習得が十分でない段階でも取り組むことができる。



表計算ソフトの列ごとに「○月○日の振り返り」という設定にしておく、単元を通して振り返りを確認することもできる。

■アドバイザーからのコメント

事前準備が少なく、どの教科等でも日常的に取り入れやすい事例です。本事例は授業の終末に行う振り返り活動を想定していますが、授業のどの場面でも同じやり方で実践することができます。（参考事例：[2-⑩](#)）

友達が書いている内容を参考にできるので、理解がゆっくりな子供にとっても大きな支援になり、授業のポイントを理解するための「足場かけ」になります。

クラウド活用を行う上で、学校全体で取り組めるおすすめの事例です。